【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号　★Ｄ-23-８-68
事業名　　防集移転元地に係る運動施設整備事業

事業費　　2,101,002,809 円
（内訳：本工事費 1,858,645,800 円、測量設計費 214,349,520 円、
用地補償費 28,007,489 円）

事業期間　平成 30 年度～令和２年度

事業目的・事業地区

防災集団移転促進事業の移転先と災害公営住宅、及び県立病院の再建用地となったため、廃止された運動施設の整備を図る。

整備に要する費用削減のため、効果促進事業（「★Ｄ23-８-２ 仮設グランド整備事業」、「★Ｄ23-８-19 栄町グランド整備事業」）において整備した仮設グラウンドを活用し、公式試合が可能な本設施設として、必要な機能等を追加し整備を行うもの。

事業結果

平成 30 年度～令和元年度	運動施設整備基本設計業務委託料	30,348,000 円
平成 30 年度～令和元年度	運動施設整備実施設計業務委託料	79,886,520 円
令和元年度～令和２年度	運動施設整備工事施工監理他補助業務	84,282,000 円
令和元年度～令和２年度	運動施設整備工事（その１）	1,065,191,600 円
令和元年度～令和２年度	運動施設整備工事（その２）	793,454,200 円
令和２年度	運動施設不動産登記等業務委託料	19,833,000 円
令和元年度	運動施設整備事業土地購入（栄町１）	177,000 円
令和元年度	運動施設整備事業土地購入（栄町２）	7,089,152 円
令和２年度	運動施設整備事業土地購入（新町１）	390,000 円
令和２年度	運動施設整備事業土地購入（新町２）	17,403,874 円
令和２年度	運動施設整備事業に伴う電気通信線路設備等移転補償	2,733,263 円
令和２年度	運動施設整備事業に伴う電気通信線路設備等移転補償（その２）	214,200 円

【事業概要】

運動施設整備工事（その１）[野球場・テニスコート整備]
フィールド（軟式野球[社会人]規格、天然芝舗装 11,645 ㎡）
メインスタンド（RC 造 412.97 ㎡ 収容人数 270 人、事務室、更衣室、記録放送室他）
両翼スタンド（盛土・芝生スタンド　収容人数 各 200 人）
別棟トイレ（RC 造 75.11 ㎡）、ダックアウト（RC 造 31.95 ㎡）２棟
照明塔（LED 照明灯 内野照度：300 lx、外野照度：200 lx）６基、防球ネット(H=10m、L=100m)、バックネット(H=10m、L=20m)、バックスクリーン１基、スコアボード１基、防火水槽(40 ㎥)１基、放送設備１式、散水設備１式、テニスコート（アスファルト系舗装 1,556 ㎡）、駐車場、駐輪場、付帯道路 L=176m
運動施設整備工事（その２）[サッカー場整備]
フィールド（125m×92m、ロングパイル人工芝舗装 11,183 ㎡）
クラブハウス（RC 造 172.8 ㎡、事務室、更衣室、トイレ、倉庫他）
防球ネット(H=10m、L=58m)、フェンス(H=1.8m、L=373m)
照明塔（LED 照明灯 照度：100 lx）４基、放送設備１式、散水設備１式
駐車場、駐輪場、防火水槽(40 ㎥)１基、構内道路(W=6m、W=3m)L＝348m
付帯道路（W=12m、W=9.5m、W=6m）L=553m

事業の実績に関する評価

被災前の運動施設はスポーツを通じた住民交流の場であり、賑わいを創出する重要な施設であった。仮設施設が整備されたものの、従前の施設機能を充足しているとは言い難く、本設施設整備の強い要望があった。

本事業においては、防災集団移転促進事業で買収した移転促進区域に整備された、既設の仮設グラウンドを活用することで、費用の低減と移転元地の有効活用を図るとともに、公式競技が可能な施設として整備を実施した。

本事業によるコミュニティの再生・交流人口の拡大は、今後の活力ある街づくりの力となることが期待されることから、有効性が高い事業であると評価できる。

各種調査・分析・評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

町の賑わいを創出する中心的な施設の整備により、多くの町民が本施設を利用し、スポーツを通じた交流人口の拡大が期待される。また、町民のみならず、町外の個人及び団体からも利用されており、本事業は有効に活用されていると考える。

② コストに関する調査・分析・評価

既設の仮設グラウンドの機能を活用し、再整備することにより事業費の低減、及び工期の短縮に成功している。

また、従前規模や類似事例と比較しても過剰な水準とならないよう設計しており、事業費の削減に努めており、施設供用開始後の維持管理コストも考慮し、省管理型の施設・製品を積極的に採用した。

なお、調査設計費の積算は、設計業務等標準積算基準等により積算を行い、工事費の設計・積算は、公共土木工事標準積算基準等により積算を行っている。

また、契約については、「大槌町町方地区防集移転元地整備の工事施工等に関する一体的業務枠組み協定型一括発注方式に関する協定書」に基づき随意契約を締結しているが、上記の積算に基づいた設計額の範囲内であることから妥当な事業費として判断できる。

以上を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	事業期間		備考
	計画	実績	
基本設計	H30.4 ～ H31.3	H30.4 ～ R1.11	設計監理補助対象業務の期間延伸のため
実施設計	H31.4 ～ R1.9	H31.3 ～ R1.11	管理者協議に時間を要したため
施設整備工事	R2.3 ～ R3.3	R2.3 ～ R3.3	

都市計画法第29条に基づく開発許可に係る管理者協議に時間を要したため、設計において計画に対し多少の遅れが生じたものの、工事は計画期間前に完工することができた。

本事業用地の大部分は、防災集団移転促進事業にて移転元地として大槌町が取得した土地であり、移転元地の有効活用事例となっている。

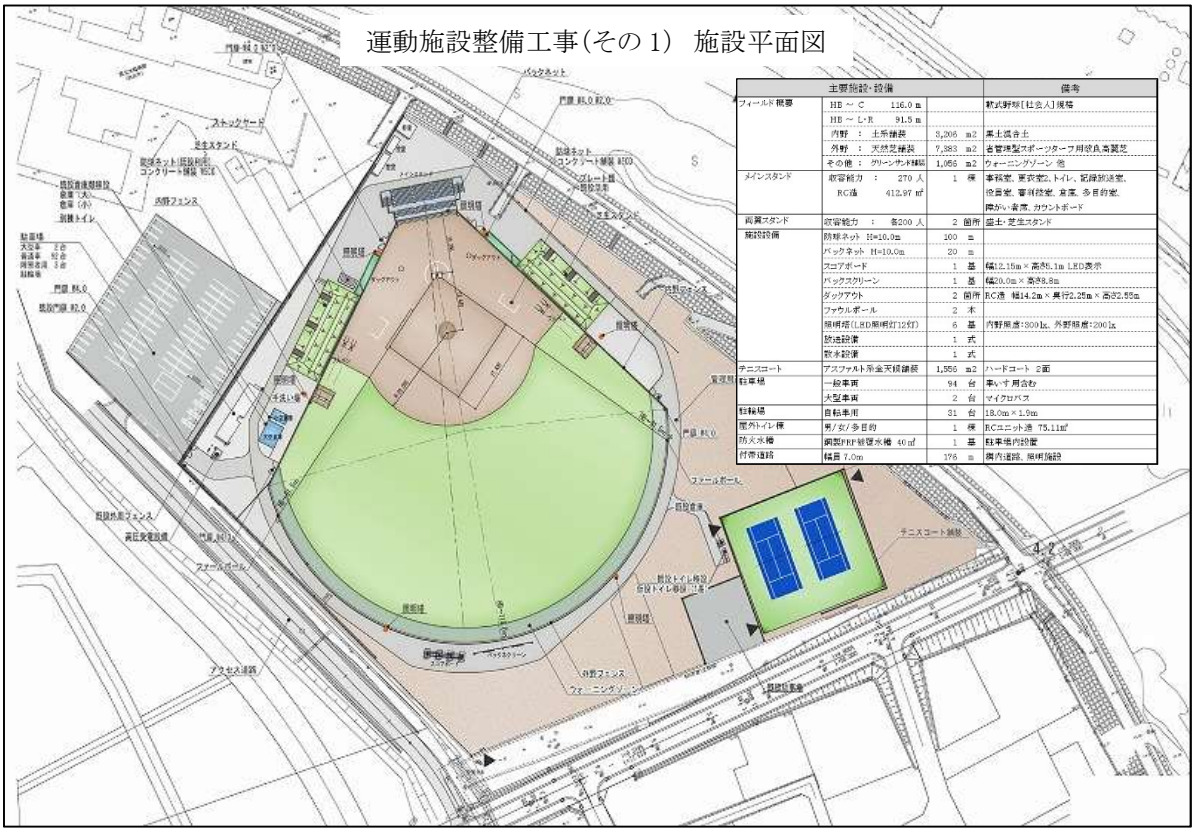
このことから、本事業の事業手法、期間は妥当であると評価できる。

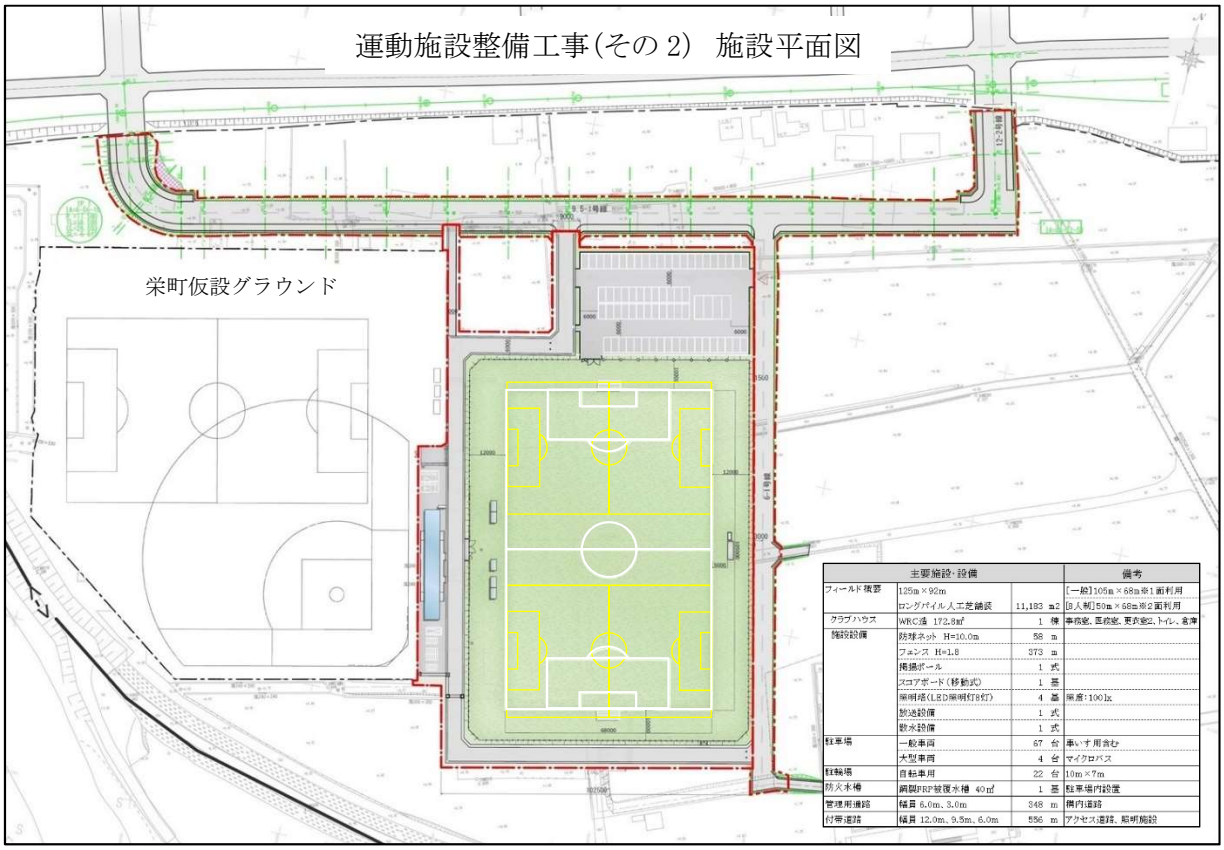
事業担当部局
　大槌町地域整備課　電話番号：0193-42-8722

■位置図

大槌町
事業個所
大槌駅
大槌港
三陸鉄道リアス線
新大槌トンネル
大槌第2トンネル
吉里吉里トンネル
300 m

■事業概要図


運動施設整備工事（その１） 施設平面図
主要施設・設備
備考
フィールド概要
HB ～ C 116.0 m
HB ～ L・R 91.5 m
内野 ： 土系舗装 3,206 m2 高土流合土
外野 ： 天然芝補装 7,383 m2 省管理型スポーツターフ用吹鳥高麗芝
その他 ： グリーンサポート補装 1,068 m2 ウォーニングゾーン 他
メインスタンド
収容能力 ： 270 人
RC造 412.97 m2
1 棟
事務室、更衣室、トイレ、応接兼会議室、倉庫、多目的室、障がい者席、カウントボード
両翼スタンド
収容能力 ： 各200 人
2 箇所
盛土・芝生スタンド
施設設備
防球ネット H=10.0m 100 m
バックネット H=10.0m 20 m
スコアボード 1 基 幅12.15m × 高さ6.1m LED表示
バックスクリーン 1 基 幅20.0m × 高さ8.8m
ダッグアウト 2 箇所 RC造 幅14.2m × 奥行2.25m × 高さ2.55m
ファウルポール 2 本
照明塔(LED照明灯12灯) 6 基 内野照度:300lx、外野照度:200lx
防球設備 1 式
散水設備 1 式
テニスコート アスファルト系金属舗装 1,555 m2 ハードコート 2面
駐車場
一般車両 94 台 車いす用含む
大型車両 2 台 マイクロバス
駐輪場
自転車用 31 台 18.0m × 1.9m
屋外トイレ棟
男/女/多目的 1 棟 RCユニット造 75.11m2
防火水槽
鋼製FRP被覆水槽 40 m3 1 基 駐車場内設置
付帯道路
幅員 7.0m 176 m 園内道路、照明施設
バックネット
門扉 H1.0 取立
ストックヤード
芝生スタンド
防球ネット(既設利用)
コンクリート補装 W3.0
プレート置
外野フェンス
駐車場
大型車 2 台
普通車 92 台
障害者用 3 台
自転車
門扉 H1.0
既設門扉 H2.0
既設倉庫補修
倉庫（大）
倉庫（小）
別棟トイレ
既設防球ネット
既設外周フェンス
高圧受電設備
ファールポール
アクセス通路
ダッグアウト
スコアボード
バックスクリーン
既設トイレ棟
仮設トイレ移設 2基
既設倉庫
テニスコート補修
ウォーニングゾーン
外野フェンス
42 道路



主要施設・設備				備考
フィールド競技	125m×92m			[一般]105m×68m※1面利用
	ロングパイル人工芝舗装	11,183	m2	[3人制]50m×68m※2面利用
クラブハウス	WRC造 172.8㎡	1	棟	事務室、医務室、更衣室2、トイレ、倉庫
施設設備	防球ネット H=10.0m	58	m	
	フェンス H=1.8	373	m	
	掲揚ポール	1	式	
	スコアボード(移動式)	1	基	
	照明塔(LED照明灯8灯)	4	基	照度:100lx
	放送設備	1	式	
	散水設備	1	式	
駐車場	一般車両	67	台	車いす用含む
	大型車両	4	台	マイクロバス
駐輪場	自転車用	22	台	10m×7m
防火水槽	鋼製FRP被覆水槽 40㎥	1	基	駐車場内設置
管理用道路	幅員 6.0m、3.0m	348	m	構内道路
付帯道路	幅員 12.0m、9.5m、6.0m	556	m	アクセス道路、照明施設

■事業実施前（2019.4）

野球場・テニスコート整備前
※既設仮設グラウンド

サッカー場整備前
※既設仮設グラウンド隣接地

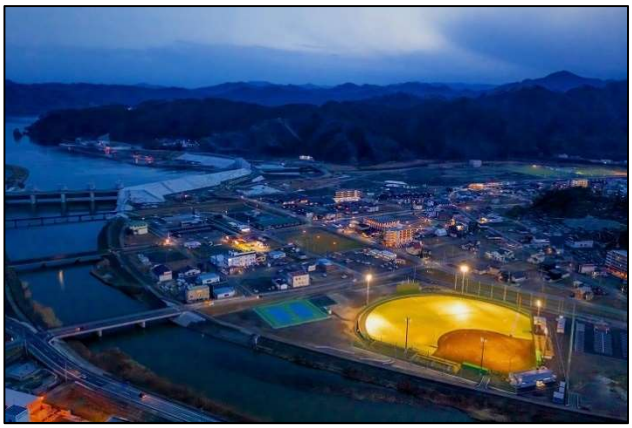
■工事完成

運動施設整備［野球場・テニスコート］

運動施設整備［サッカー場］

運動施設整備［野球場・テニスコート］

運動施設整備［サッカー場］



運動施設整備［野球場・テニスコート］

運動施設整備［サッカー場］